



検査センター職員を順次紹介していくコーナーです。私たちは「顔の見える検査センター」を目指しています。先生方のご意見・ご感想をぜひお聞かせ下さい。

♥ 117人目



ふくだ とみこ  
福田 富子  
検査科細菌所属  
勤続 11年

## 私の日課

細菌検査用の培地作りを担当しています。当検査センターでは作る培地の種類が多く、作製枚数もかなり大量なので、入所した当初は覚えることがたくさんあり大変でした。絶対に雑菌をいれないこと。培地を流す温度を体で覚えること（夏と冬でも違って来る）。粉と水の量。等々、やっと一人前に作れるようになるまで1～2年はかかりました。

毎日がバタバタと忙しく過ぎていきますが、私の日課は朝と晩に必ず家のトイレを掃除することです。トイレを掃除するとすっきりといい気持ちになり、今日も一日頑張ろうと思えます。

この春の時期は検診の時期とも重なり、検体数もぐんと増えるためにますます忙しくなります。まだまだ仕事に関してはわからないこともたくさんあり、もっと頑張りたいと思っています。

♣ 118人目



はつおか ひろし  
初岡 博  
経営企画課所属  
勤続 8年

## ご自慢の窓

毎月『臨床検査センターだより』をご愛読いただき心より感謝申し上げます。広報委員の一員でもある私ですが、所内にとどまらず、取材や医療機関研修サポート等で医療機関様を訪問する機会もあります。

そんなとき気になるのが、訪問先の医療機関様から見える窓外の景色です。

こちらから何も言わなくても「ここからの眺めがいいんだよねえ」と感慨深くおっしゃる院長先生もいらっしゃいました。あるいは私の方から「是非写真を撮らせてください」とお願いすると、病院で最も眺めがよい場所に連れて行ってくださった医療機関様もありました。（感激！）

それもそのはず、医療機関様の窓には、その一つに患者さんの痛みや不安などを少しでも和らげようとする優しさが込められているのですから。

季節の移り変わりとともに変化し続ける窓外の景色。今日もどこかで…。窓外の景色に癒されている患者さんの姿が目に見えそうです。